

東淀川区医師会

令和4年度がん対策セミナーのご案内

女性に特有の癌といえば、子宮頸がん、子宮体癌、卵巣癌、乳がんなどがあげられます。日本では、乳がん以外を婦人科で治療しております。子宮頸がんは、若年女性での発症が増加しており、ワクチンなど1次予防で注目されています。子宮体癌は、肥満や食生活の欧米化により増加が著しくなっています。卵巣癌は、現在においても有効な検診方法がありません。女性の約1/3が癌になる現代においては、がんにならないようにする生活習慣を含む1次予防や、がん検診等による早期発見・早期治療をおこなう2次予防が大切なのはもちろんのこと、適切な治療により生活の質を保ちながら転移再発やがんによる死亡を防ぐ3次予防が重要となっています。婦人科癌と診断されたあとの治療について、進行や再発を防ぐために行われていることなどについて紹介いたします。

記

日時 令和5年3月8日(水) 午後2時～

会場 東淀川区医師会館 3階講堂 豊新2-3-7

演題 「婦人科がんの“治療とその後”」

淀川キリスト教病院

産婦人科 部長 鈴木 嘉穂 先生

定員 20名 (先着申込順)

申込 区医師会までお電話にて

参加無料
区民対象

※必ず事前にお申し込み下さい。

※マスク着用をお願いします。体温チェック、手指アルコール消毒を行います。なお、咳や咽頭痛などの症状がある方は参加を控えて下さい。

主催：東淀川区医師会 ☎ (06) 6320-2226